

# 2016年度日本生物工学会北日本支部弘前シンポジウム

## 農産物の生産環境・生産性・品質向上へ ～生物間相互作用の視点から～

2016年7月23日（土） 13:30～17:35（受付 13:10～）  
弘前大学農学生命科学部 コラボレーションセンター8F会議室  
参加費:無料

- 13:30～13:35 開会の辞  
（日本生物工学会北日本支部 支部長） 中山 亨
- 13:35～14:20 「植物での有用遺伝子高発現系とその活用」  
（奈良先端科学技術大学院大学） 加藤 晃
- 14:20～15:05 「ウイルス—ノンコーディングRNA病原—  
の分子構造と病原性」  
（弘前大学） 佐野 輝男
- 15:05～15:15 休憩
- 15:15～16:00 「モモシクイガの食害に対するリンゴ果実の  
防御反応と生活史に及ぼす影響」  
（地方独立行政法人青森県産業技術センター） 石栗 陽一
- 16:00～16:45 「天敵を使った害虫防除技術  
～より成功率の高いIPMを目指す～」  
（石原バイオサイエンス株式会社, 石原産業株式会社） 森 光太郎
- 16:45～17:30 「接ぎ木で行う作物のエピゲノム編集」  
（弘前大学 名誉教授） 原田 竹雄
- 17:30～17:35 閉会の辞  
（日本生物工学会北日本支部副支部長） 田口 精一

